



水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課

H30.12.3

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**ナンダオコーポレーション(台湾)**の皆様が見学に来られ、当事務所から流水調整課長ほか2名の職員が対応しました。

海を越えてお越しになった設計施工関係会社の皆様で、始まりから終わりまで、熱心にメモをとったり写真を撮ったりする姿が見られ、通訳を介してたくさんの疑問質問をいただきました。

室内でのご説明の後、堰柱内機械室へご案内し、魚道や魚道観察室、館内展示等すべてご見学いただきました。

皆様から「現場でいろいろ詳しく説明していただき、わかりやすかったです。貴重な資料もたくさん頂きまして本当に勉強になりました。今後のゲート設計などの参考にさせていただきます」との喜びのお声をいただきました。

団体見学概要

日 時：平成30年11月30日(金) 14:30 ~ 16:30

会 場：水ときらめき紀の川館

参加人数：9名

団体名：ナンダオコーポレーション(台湾)



1. 紀の川大堰概要説明

まずは流水調整課長がスライドを用いて、紀の川の概要や、紀の川大堰の仕組み・役割などを説明しました。

通訳の方の話を熱心に聞く様子が見られました。



2. 堰柱内機械室見学



管理橋を歩いて第3堰柱に向かっています。



主ゲートを間近で真上から見ている様子。主ゲートの厚みは約4.7mです。



機械室でもたくさんの質問をいただきました。

3. 魚道見学



←階段式魚道とデニバチ魚道を上から見ている様子。魚道は環境保全の役割を果たしています。

魚道観察室で説明を聞く様子。→



4. 館内の見学



←2階にあるゲート操作室内を窓越しに見学。職員の説明聞きながら、中の設備を見ている様子。



←展望デッキから一望できる景色をたくさんカメラに納めていました。



疑問・質問



Q.ゲートを上げるときのバランスの取り方を教えてください。

A.左右のワイヤーロープをモーターで引き上げますが、開度計の数字を見ながらゆっくりと作業します。傾きが出てきたら片方のモーターを止め、水平を確認しながら上げていきます。

Q.ゲートの中は空洞だとおっしゃいましたが、水が入ったりしないのですか？

A.ゲート下部には水抜き穴、上部には空気抜き穴が開いており、ゲートを降ろすとゲート内に水が入り、上げると抜ける仕組みになっています。